

注3

大学番号：061

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

意見伺い

和歌山大学大学院 観光学研究科

注2

【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人和歌山大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画課

職名・氏名 課長 ミツノ三野 アキヒロ明弘

電話番号 073-457-7022

（夜間） 073-457-7022

F A X 073-457-7000

e-mail mitsuno@center.wakayama-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1 調査対象大学等の概要等	1
(1) 設置者	1
(2) 大学名	1
(3) 大学の位置	1
(4) 管理運営組織	1
(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等	2
2 授業科目の概要	5
(1) 授業科目表	5
(2) 授業科目数	6
(3) 未開講科目	7
(4) 廃止科目	7
(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	7
(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	7
3 施設・設備の整備状況, 経費	8
4 既設大学等の状況	9
5 教員組織の状況	11
(1) 担当教員表	11
(2) 専任教員数	12
(3) 専任教員辞任等の理由	13
(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	13
6 留意事項に対する履行状況等	14
7 その他全般的事項	15
(1) 設置計画変更事項等	15
(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	15
(3) 自己点検・評価等に関する事項	16
(4) 情報公表に関する事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人和歌山大学

(2) 大学名

和歌山大学大学院

(3) 大学の位置

〒640-8510

和歌山県和歌山市栄谷930番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ヤマモト ケンジ) 山本 健慈 (平成21年8月)		
研究科長	(ヤマダ ヨシハル) 山田 良治 (平成23年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
観光学研究科 観光学専攻(修士課程) 修士(観光学)	2年	5人	10人	基礎となる学部等 観光学部観光経営学科 地域再生学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		5人 () []	5人 () []	5人 () []	5人 () []	1.5倍	
志願者数		10 (1) [2]	— (—) [—]	10 (1) [4]	— (—) [—]		
受験者数		10 (1) [2]	— (—) [—]	9 (1) [4]	— (—) [—]		
合格者数		8 (1) [1]	— (—) [—]	9 (1) [4]	— (—) [—]		
B 入学者数		7 (1) [1]	— (—) [—]	8 (1) [3]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A		1.4		1.6			

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 7	[-] -	[3] 8	[-] -			
2年次	/		[1] 6	[-] -			
計			[1] 7	[4] 14			

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	7人	1人	平成23年度	1人	0人	就職(1人)	14.3 %
			平成24年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	8人	0人	平成24年度	0人	0人		0.0 %
合計	15人	1人					6.7 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<観光学研究科 観光学専攻（修士課程）>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	観光学総論	1前			2							
	観光まちづくり概論	1前	2			3	2					オムニバス
	観光まちづくり演習	1前	2			3	2					オムニバス
基盤科目	観光まちづくり特論	1・2前後		2								集中前・後いずれかで開講する
	観光事業特論	1・2前後		2		1						前・後いずれかで開講する
	観光統計特論	1・2前後		2			1					〃
	社会調査方法特論	1・2前後		2								〃
特論応科目	(空間創造系科目)											
	観光空間文化特論	1・2前後		2			1					前・後いずれかで開講する
	観光環境文化特論	1・2前後		2		1						〃
	文化空間創造特論	1・2前後		2		1						〃
	空間と経済特論	1・2前後		2		1						〃
	都市マネジメント特論	1・2前後		2								〃
	居住空間政策特論	1・2前後		2			1					〃
	森林空間政策特論	1・2前後		2			1					〃
	(交流企画系科目)											
	観光交流社会特論	1・2前後		2								〃
	観光経営人類学特論	1・2前後		2		1						〃
	都市農村交流特論	1・2前後		2		1						〃
	紀州学特論	1・2前後		2								〃
	異文化交流特論	1・2前後		2		1						〃
交流企画運営特論	1・2前後		2		1						〃	
交流科学技術特論	1・2前後		2			1					〃	
実践科目	インターンシップA	1・2前後		1		1						集中
	インターンシップB	1・2前後		2		1						集中
専門研究	専門研究Ⅰ	1後	2			8	5					
	専門研究Ⅱ	2通	4			3	1					受講希望者がいなかったため(24)

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	20	1	25	4	20	1	25	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	32,000 m ²	0 m ²	0 m ²	32,000 m ²				
	運 動 場 用 地	53,000 m ²	0 m ²	0 m ²	53,000 m ²				
	小 計	85,000 m ²	0 m ²	0 m ²	85,000 m ²				
	そ の 他	336,000 m ²	0 m ²	0 m ²	336,000 m ²				
合 計	421,000 m ²	0 m ²	0 m ²	421,000 m ²					
(2) 校 舎	専 用	76,000 m ² (76,000 m ²)	共 用 (0m ²)	共用する他の 学校等の専用 (0m ²)	計 (76,000 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	49 室	演 習 室 66 室	実験実習室 28 室	情報処理学習施設 8 室 (補助職員 0 人)	語学学習施設 1 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	観光学研究科			26 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	観光学研究科	725,000 [201,000] (710,000 [198,000])	7,000 [2,300] (6,900 [2,200])	2,200 [2,100] (1,800 [1,800])	8,700 (8,000)	0 (0)	0 (0)		
	計	725,000 [201,000] (710,000 [198,000])	7,000 [2,300] (6,900 [2,200])	2,200 [2,100] (1,800 [1,800])	8,700 (8,000)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	8,000 m ²		閱 覧 座 席 数 640	収 納 可 能 冊 数 855,000		大学全体		
(7) 体 育 館	面 積	2,800 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要 野球場1面、テニスコート14面			大学全体		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り納付金	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		—							

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	和歌山大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
教育学部		185		740		1.09	昭和24年度	和歌山市栄谷930	
学校教育教員養成課程	4	145	-	580	学士(教育学)	1.08	平成11年度		
総合教育課程	4	40	-	160	学士(教養学)	1.14	平成20年度		
経済学部		330	3年次	1,340		1.03	昭和24年度	和歌山市栄谷930	
経済学科	4	110	4	448	学士(経済学)	1.03	昭和39年度		
ビジネスマネジメント学科	4	110	4	448	学士(経済学)		平成4年度		
市場環境学科	4	110	2	444	学士(経済学)		平成8年度		
システム工学部		285	3年次	1,180		1.04	平成7年度	和歌山市栄谷930	
情報通信システム学科	4	57	20	236	学士(工学)	1.08	平成7年度		
光メカトロニクス学科	4	57		236	学士(工学)	1.04	平成7年度		
精密物質学科	4	57		236	学士(工学)	1.05	平成7年度		
環境システム学科	4	57		236	学士(工学)	1.01	平成7年度		
デザイン情報学科	4	57		236	学士(工学)	1.02	平成7年度		
観光学部		110		440		1.04		和歌山市栄谷930	
観光経営学科	4	60	-	240	学士(観光学)	1.04	平成20年度		
地域再生学科	4	50	-	200	学士(観光学)		平成20年度		
教育学研究科 (修士課程)		45		90		1.22	平成5年度	和歌山市栄谷930	
学校教育専攻	2	12	-	24	修士(教育学)	1.50	平成5年度		
教科教育専攻	2	33	-	66	修士(教育学)	1.13	平成5年度		
経済学研究科 (修士課程)		42		89		0.94	昭和41年度	和歌山市栄谷930	
経済学専攻	2	19	-	41	修士(経済学)	0.67	昭和43年度		
経営学専攻	2	13	-	28	修士(経済学)	1.03	昭和43年度		
市場環境学専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	1.30	平成11年度		
システム工学研究科 (博士前期課程)		137		282		1.16	平成12年度	和歌山市栄谷930	
システム工学専攻 (博士後期課程)	2	129	-	258	修士(工学)	1.12	平成12年度		
システム工学専攻	3	8	-	24	博士(工学)	1.33	平成14年度		

大学の名称	和歌山大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
特別支援教育特別専攻科		10		10		1.00	平成9年度	和歌山市栄谷930	
発達障害教育専攻	1	10	-	10	-	1.00	平成9年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<観光学研究科 観光学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	山田 良治	平成23年4月	空間と経済特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	尾久土 正己	平成23年4月	観光まちづくり演習 交流企画運営特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	加藤 久美	平成23年4月	観光環境文化特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	竹鼻 圭子	平成23年4月	観光まちづくり概論 異文化交流特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	出口 竜也	平成23年4月	観光まちづくり概論 観光経営人類学特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	廣岡 裕一	平成23年4月	観光まちづくり概論 観光事業特論 インターンシップA インターンシップB 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	藤田 武弘	平成23年4月	観光まちづくり演習 都市農村交流特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	教授	米山 龍介	平成23年4月	観光まちづくり演習 文化空間創造特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	准教授	大井 達雄	平成23年4月	観光まちづくり演習 観光統計特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	准教授	大浦 由美	平成23年4月	観光まちづくり演習 森林空間政策特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						

認可時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	准教授	神田 孝治	平成23年4月	観光まちづくり概論 観光空間文化特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	准教授	中串 孝志	平成23年4月	交流科学技術特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
専	准教授	堀田 祐三子	平成23年4月	観光まちづくり概論 居住空間政策特論 専門研究Ⅰ 専門研究Ⅱ						
兼任	教授	足立 基浩	平成23年4月	都市マネジメント特論						
兼任	准教授	鈴木 裕範	平成23年4月	紀州学特論	兼任	教授	鈴木 裕範	平成24年4月	紀州学特論	昇任のため(24)
兼任	講師	大橋 昭一	平成23年4月	観光学総論						
兼任	講師	田中 正人	平成23年4月	社会調査方法特論						
兼任	講師	西村 幸夫	平成23年4月	観光まちづくり特論						
兼任	講師	吉田 道代	平成23年4月	観光交流社会特論						

- (注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - また、「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
13	0	13	0	13	0	13	0	
(13)	(0)	(13)	(0)	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
			該当なし

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (22年11月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (24年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<観光学研究科観光学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

和歌山大学授業評価・改善推進部会

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

年2回開催 出席状況良好

c 委員会の審議事項等

- (1) 授業の開発に関すること。
- (2) 公開授業に関すること。
- (3) 授業評価に関すること。
- (4) 授業改善に関すること。
- (5) 教員の授業研修に関すること。
- (6) その他FDに関すること。

② 実施状況

a 実施内容

- ① 授業評価アンケート
- ② グッドレクチャー賞
- ③ 授業参観制度

b 実施方法(aの番号に対応)

- ① 前期、後期にそれぞれ授業評価アンケートを実施する。
- ② 授業評価アンケートをもとに「グッドレクチャー賞」を選抜しFDフォーラムにおいて発表・表彰する。
- ③ 他の教員の授業を参観しうる期間を設ける。参観した教員はコメントシートを提出する。

c 開催状況(教員の参加状況含む)(aの番号に対応)

- ① 年2回 (前期1回、後期1回)
- ② 年1回 ①をもとに選抜
- ③ 年2回 前期165名 後期148名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況(aの番号に対応)

- ① 各教員にアンケート結果を報告し、授業改善に役立てている。
- ② FDフォーラムで「グッドレクチャー賞」として表彰し紹介することでFD活動の推進に役立てている。

③ 他の教員からのコメントシートやFD報告書を通じて授業改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回実施（前期1回、後期1回）

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員にアンケート結果を報告し、授業改善に役立てている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・平成25年3月31日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学関係機関あてに配布予定

・大学ホームページ上に公開予定(平成25年3月末を予定)

③ 認証評価を受ける計画

・平成25年度に評価機関(独立行政法人大学評価・学位授与機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

授業評価・改善推進部会申合せ

平成16年5月21日制定

平成18年7月14日改正

(趣旨及び設置)

第1 第3常置委員会の下に、FD（ファカルティ・ディベロップメント）を推進するため、授業評価・改善推進部会（以下「部会」という。）を置く。

(任務)

第2 部会は、次の各号に掲げる事項を検討し、その実施にあたる。

- (1) 授業の開発に関すること。
- (2) 公開授業に関すること。
- (3) 授業評価に関すること。
- (4) 授業改善に関すること。
- (5) 教員の授業研修に関すること。
- (6) その他FDに関すること。

(組織)

第3 部会は、次の各号の委員をもって組織する。

- (1) 第3常置委員会から選出された委員長 1名
- (2) 第3常置委員会から選出された教員 3名
- (3) 各学部FD委員会委員長 各1名
- (4) 各学部から選出された教員 各1名
- (5) 教務課職員 1名
- (6) その他委員長が必要と認めた者

2 前項(3)から(5)に掲げる委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、任期中欠員が生じ、これを補充した場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4 委員長は、部会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代行する。

(部会委員以外の者の出席)

第5 委員長が必要と認めるときは、部会以外の者の出席を求め、その意見を聴き、又は協力を求めることができる。

(雑則)

第6 この申合せに定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、第3常置委員会が定める。

附 則

1 この申合せは、平成16年5月21日から施行する。

2 この申合せ施行後、最初に選出される第3の1(3)から(5)の委員の任期は、第3の2の規定にかかわらず平成17年3月31日までとする。

附 則（平成18年7月14日一部改正）

この改正申合せは、平成18年7月14日から施行する。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

和歌山大学大学院観光学研究科は、21世紀における観光の量・質両面での劇的な発展と、観光が今世紀の重要な国家戦略に位置づけられている状況をふまえ、この事態を学際的な観点から科学的に解明するとともに、この分野において高い専門知識を持ち、応用力、想像力そして人間性に富み、国際的視野で行動できる人材を育成することをその基本的な目的としている。その際、観光振興と地域の活性化が、本質的で不可分の課題として現れているわが国の現状に鑑み、「観光まちづくり」を本研究科の基本コンセプトとして掲げつつ、この観点からわが国における観光学研究の確立・発展をリードし、その内容を反映した教育課程において、包括的かつ高度な理論的・実務的教育を受けた人材、すなわち「観光まちづくりコーディネーター」として活躍できる高度専門職業人を養成すること、これらの活動を基盤として、その成果を観光まちづくり並びに観光振興の多様な実践に活かし、このことを通じて社会と地域に貢献することを課題としている。

設置初年度にあたる昨年度の総括所見においては、定員を上回る受験者の存在と入学者における定員の充足の完了、バランスの取れた受講登録の実現、研究科会議など管理運営体制の確立など、当初の計画が順調にその歩みを開始したことを示した。これらの枠組みの下で、研究科の教育課程はその後順調に実践に移され、第2年度を迎えている。

第2年度においても受験者は定員の倍に当たる10名を数え（うち社会人1名）、厳正な入学試験を経て8名（含社会人1名）が入学した。授業の受講登録も全教科にわたってバランスの取れた状況となっており、初年度と同様に順調な滑り出しを見せている。管理運営の面でも研究科会議を中心とする運営が軌道に乗っており、特段の問題もなく当初計画に沿って教育上の諸課題を履行しつつある。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (年 月 日) 未定